

RECOMMEND 林業はこのような人におすすめ



空気が
きれいな場所で
働きたい



体を動かすことが
好き



ふるさとの
自然を守りたい



田舎暮らしが
したい

EMPLOYMENT TYPE 雇用形態について

1

各地の森林組合の
現場職員になる

2

民間の造林会社、
素材生産会社等に就職する

1と2を総称して林業経営体という

林業に従事するには、左記などの方法があります。就業した森林組合や、林業会社から給与が支払われます。社会保険制度はもちろん、退職金制度に加入している林業経営体も増えています。森林の仕事の就業情報は、下記の各都道府県の林業労働力確保支援センターやハローワークなどで知ることができます。

相談窓口：林業労働力確保支援センター等

各都道府県に設置されていて、林業に従事したい人のために説明会や求人情報の提供、林業従事者の技術研修や林業経営体の雇用管理の改善・合理化など林業労働力の育成確保策に取り組んでいます。なお、都道府県により団体名称は異なります。

北海道	(一社)北海道造林協会	011-200-1381	滋賀県	(一社)滋賀県造林公社	077-522-0307
青森県	(公社)青森県林業会議	017-732-5288	京都府	(公財)京都府林業労働支援センター	075-821-9277
岩手県	(公財)岩手県林業労働対策基金	019-653-0306	大阪府	(一社)大阪府木材連合会	06-6685-3101
宮城県	(公財)みやぎ林業活性化基金	022-217-4307	兵庫県	(公財)兵庫県営林緑化労働基金	078-361-8010
秋田県	(公財)秋田県林業労働対策基金	018-864-0161	奈良県	(公財)奈良県緑化推進協会	0744-26-0202
山形県	(公財)やまがた森林と緑の推進機構	023-666-6348	和歌山県	(一社)わかやま森林と緑の公社	0739-83-2022
福島県	(公社)福島県森林・林業・緑化協会	024-521-3270	鳥取県	(公財)鳥取県林業担い手育成財団	0857-28-0123
茨城県	(公社)茨城県森林・林業協会	029-225-5949	島根県	(公社)島根県林業公社	0852-32-0253
栃木県	(公社)とちぎ環境・みどり推進機構	028-624-3710	岡山県	(公財)岡山県林業振興基金	086-230-7444
群馬県	(一財)群馬県森林・緑整備基金	027-386-5901	広島県	(一財)広島県森林整備・農業振興財団	0826-72-7833
埼玉県	(公社)埼玉県農林公社	0494-25-0291	山口県	(一財)やまぐち森林担い手財団	083-932-5286
千葉県	(公社)千葉県緑化推進委員会	0438-60-1521	徳島県	(公財)徳島県林業労働力確保支援センター	088-676-2200
東京都	(公財)東京都農林水産振興財団	042-528-0643	香川県	(一財)香川県森林林業協会	087-861-4353
神奈川県	神奈川県森林再生課林業振興グループ	045-210-4342	愛媛県	(公財)えひめ農林漁業振興機構	089-934-6153
新潟県	(公社)新潟県農林公社	025-285-7712	高知県	(公財)高知県山村林業振興基金	0887-57-0366
富山県	(公社)富山県農林水産公社	076-441-6747	福岡県	(公財)福岡県水源の森基金	092-712-1443
石川県	(公財)石川県林業労働対策基金	076-237-0121	佐賀県	(公財)佐賀県森林整備担い手育成基金	0952-20-0084
福井県	(公財)福井県林業従事者確保育成基金	0776-38-0345	長崎県	(一社)長崎県林業協会	0957-25-0184
山梨県	(一社)山梨県森林協会	055-242-6667	熊本県	(公財)熊本県林業従事者育成基金	096-340-1151
長野県	(一財)長野県林業労働財団	026-225-6080	大分県	(公財)森林ネットおおいた	097-546-3009
岐阜県	(公社)岐阜県森林公社	0575-33-4011	宮崎県	(公社)宮崎県林業労働機械化センター	0985-29-6008
静岡県	(公社)静岡県山林協会	054-255-4485	鹿児島県	(公財)鹿児島県林業担い手育成基金	0995-54-3131
愛知県	(公財)愛知県林業振興基金	052-953-3608	沖縄県	(一社)沖縄県森林協会	098-987-1804
三重県	(公社)みえ林業総合支援機構	059-261-4760			

2023年8月現在



「緑の雇用」総合ウェブサイト

RINGYOU.NET

<https://www.ringyou.net/>

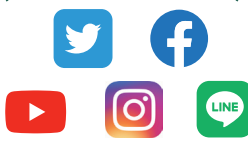
緑の雇用

検索



オンライン相談も
常時受付中!

SNSでも情報発信



もり 森林で働く。

100年先へ、届ける仕事。

緑の雇用

(林野庁補助事業)

林業を仕事にするということ。



日本は、世界屈指の森林国です。

その豊かな環境を活かし、木を植え、育て、森林をつくり生活に役立ててきました。

「林業」とは、そんな森林を育て、人々の生活に活かす仕事です。

国土の約7割を占める森林を維持管理し、育成した樹木を伐採。木材資源として生産していきます。

また、樹木を伐採した後に苗木を植え、豊かな森林に育つように下刈りや枝打ち、

間伐を行いながら100年先に豊かな森林を伝えていく息の長い仕事です。

現在、戦後に植林された木が十分に育ち、資材として利用できる段階になりました。

先人の残してくれた森林を未来に届けるために、

今、森林で働く若い担い手を必要としています。

そのため、国では「緑の雇用」事業により林業の仕事に必要な技能を身につける研修プログラムを用意しています。

JOB DESCRIPTION 仕事内容

地ごしらえ



伐採後、植え付けをするために、散乱した枝葉や残木を集積します。

植え付け



地ごしらえした林地に、新しい苗を1本ずつ丁寧に植え付けます。

下刈り



植え付けされた苗木の成長を妨げないよう、周りの雑草木を刈り取りします。

作業道 作設



伐採した木材の搬出のために路網を作ります。

伐採



混みあった木を間引きしたり、伐採時期を迎えた木を利用するために、木を伐り倒します。

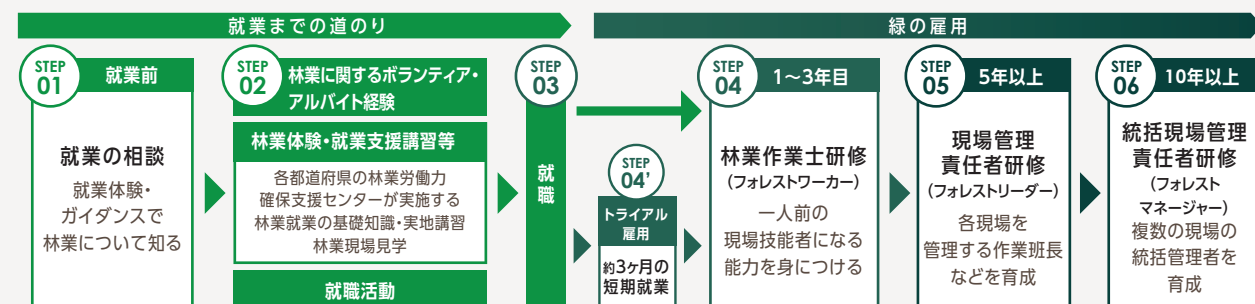
造材・ 搬出



伐倒木の枝を払い、玉切りして、林道端などに運びます。

SYSTEM 「緑の雇用」事業の体系

「緑の雇用」事業は、新規就業者に対して、将来の林業を担う現場技能者に育てる国の事業（林野庁補助事業）です。林業に必要な知識・技術・技能を習得するための集合研修と、実地研修（OJT）を組み合わせた研修プログラムとなっており、未経験でも安心して技術を身につけることができます。



TRAINING 「緑の雇用」事業の研修内容

トライアル雇用

林業作業士（フォレストワーカー）FW研修 3ヶ月

林業就業希望者が、仕事や職場に合っているか試す期間です。

新規就業者の方が対象。実地研修（OJT）や集合研修を通じて林業の基礎を学び、一人前の現場技能者になるための能力を段階的に身につけます。

約3ヶ月

8ヶ月／年

FW1年目

FW2年目

FW3年目

実地研修

短期雇用や試用期間中に、林業経営体*にて実施。

林業経営体の指導員によるOJT研修。



就業している林業経営体*にて実施。林業経営体の指導員によるOJT研修を行い、働きながら学びます。

集合研修

実施しません。



都道府県単位で実施し、年間21～29日程度の座学と実習を同じ年次の仲間と共に学びます。
【研修中に取得できる安全講習等】
刈払機取扱作業、伐木等の業務（チェーンソー作業）、玉掛け技能講習、不整地運搬車運転技能講習、荷役運搬機械によるはい作業従事者、機械集材装置の運転業務、簡易架線集材装置の運転業務、伐木等機械の運転業務 など

*林業経営体とは：森林組合や林業会社などのこと。「緑の雇用」事業は、年度ごとに承認を受けた林業経営体が対象です。

VOICE 従事者の声

女性が活躍する場面は多いと思います。

「林業のやりがいとは？」

「林業って何？」というレベルから転職しました。木を切る時も最初は伐倒方向が全然定まらなかったのが、先輩方に教えられて安全に倒せるようになりました。周りの人たちに助けられて今の自分があるのだと感じます。入った頃に比べて自分でもできることが増えてきました。任される仕事が増えるとやりがいも増え、達成感もあります。この仕事を続けられている要因のひとつです。1日1日を着実にやれば前に進めるし、自分の成長にも繋がります。

「林業は女性でもできる？」

仕事は男女の分け隔てなくさせていただいています。外で体を動かすことが好きな方なら女性でも全然できる仕事です。やっているうちに体力もついてきます。大変なこともあります。植え付けは女性の方が丁寧だと言われることもあり、そういう“らしさ”を伸ばしていくといいかもしれません。女性が活躍できる場面は多いと思います。少しでも興味がある方は体験からでもぜひ来てもらうと思います。やってみるとすごく楽しい仕事です。



金沢さん 林業就業 4年目（取材当時）

毎日が充実しています。



「林業の魅力は？」

伐採した木が川のようにきれいに並んで倒れていくさまを見ると仕事のやりがいを感じます。作業前の山は、枯れ木や流木、枝が散乱していて暗い印象です。それが人の手が加わると見違えるように明るくなります。山には人が必要だと実感します。将来、林業をベースに、山が持つポテンシャルを活かした事業が生まれてもっと多くの人の利益につながるようになるといいなと思います。

「林業を選んだ理由は？」

以前は東京で働いていましたがライフワークバランスを保ちたくて転職を考えました。今までとは違う分野で、スケールの大きい仕事がしたいと思い林業を選びました。徳島県の人材育成研修で学び、インターンでお世話になった会社就職しました。移住して結婚子供も授かりました。平日も終業後は家族とゆっくり過ごせるし、気候が温暖で海が近く、休日にも楽しめて毎日が充実しています。林業を選んでよかったと改めて思います。

西野さん 林業就業 3年目（取材当時）